

田園地域総合整備事業について

建設省四国地方建設局 正会員 ○藤山 究
建設省四国地方建設局 正会員 小竹 良

1. はじめに

田園地域は、人口の流出・高齢化、農林業を中心とした地域の生産活動の停滞等の問題を抱えている。その一方で、都市地域にはない多様な特性があり、その活用が望まれる。

この為、建設省では、地域の主体性と創意工夫を生かした事業の総合的・計画的な実施を目的に、平成7年度より「田園地域総合整備事業」を推進しており、本稿は、その概要と四国内での取り組みについて紹介するものである。

2. 事業の背景

現在の農山村地域を取り巻く主な環境の変化は以下の通りであり、今後もより一層の地域の活力の低下が懸念されている。

- ①ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に伴う米の輸入量の増加など、農産物貿易の自由化の進行
- ②若年層を中心とした人口流出による過疎化や高齢化
- ③公共施設、医療・福祉施設、商業施設等の定住基盤整備の遅れ
- ④農林業の生産活動の停滞と非農業者の増大に伴う農林業生産活動を中心とした地域コミュニティの崩壊のおそれ

しかしながら、農山村地域には、都市地域にはない地域固有の産業・伝統文化等の地域資源や生活様式などの社会的・文化的な特性とともに、農地や林地、自然環境が多く存在する空間的な特性がある。それぞれの地域のもつ固有の特性や都市地域との連携を生かすことができれば、地域の活性化を図ることは十分可能であるといえる。

3. 事業の概要

そこで、本事業では、田園地域のうち特に活性化が望まれる地域について、地域の運営、整備および管理について、主体性と創意工夫を生かした明確な方針－「田園地域経営戦略」－のもとに、定住・交流基盤と生活環境の整備を積極的に進めるために必要な所管事業のアクションプログラム－「田園地域総合整備計画」－を作成し、これに基づく事業の総合的・計画的実施を推進することとしている。（図-1）

なお、本事業の対象地域としては、原則として地域経済、地域社会等の中心である集落とこれと一体的な周辺地域からなる圏域（集落圏）のうち、所管事業の実施によってその地域だけでなく、周辺の地域に対しても活力の維持向上に相当な効果を及ぼすと認められる地域としている。

図-1 田園地域総合整備事業のフロー



4. 事業の実施の状況

四国地方では、既に2地域が指定されている。以下にその2地域の経営戦略の概要を示す。

(1)美合地域（香川県琴南町）

整備目標	中核的施策	所管事業
豊かさを実感できる 「やすらぎとふれあい のあるまちづくり」	<ul style="list-style-type: none"> ・大滝大川県立自然公園の整備 ・一般国道438号の整備 ・農村総合整備モデル事業 ・中山間地域農村活性化総合整備事業 ・美霞洞温泉周辺の整備 ・温泉宿泊施設・特産品センターの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般国道438号道路改良事業 ・県道・町道改良事業 ・河川改修事業 ・砂防・地すべり対策・急傾斜地崩壊対策事業
その他；地域指定	平成7年6月21日	協議会設立 準備中

(2)梼原地域（高知県梼原町）

整備目標	中核的施策	所管事業
「森林と水」によりど ころを求めて、産業を 活性化し、豊かな生活 と新しい文化を形成し ていく「森林と水の文 化構想」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・木の里文化伝承館の整備 ・太郎川公園の整備 ・滞在型カントリーハウスの整備 ・広域共同プロジェクト（四国カルスト 高原観光ネットワーク整備事業） ・製材施設等の整備（活性化林業構造改 善事業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般国道440号道路改良事業 ・県道・町道改良事業 ・特定環境保全公共下水道事業 ・水と緑豊かな溪流砂防事業 ・急傾斜地崩壊対策事業 ・公営住宅建築事業
その他；地域指定	平成7年6月21日	協議会設立 平成7年11月24日

5. これからの田園地域の役割

現在、新しい全総計画の策定に向けて活発な論議がなされており、平成7年12月には、その基本的な考え方「21世紀の国土のグランドデザイン」が示された。

その中で、今後の国土づくりの基本目標として、「生活の豊かさと自然環境の豊かさが両立する世界に開かれた活力ある国土の構築」を掲げており、複数の新しい国土軸を形成し、歴史・文化の流れと多様な自然環境を生かした新しい日本文化と生活様式の創造を目指すとしている。

本稿でいう田園地域は、「多自然居住地域」と呼ばれ、

- ①新たなライフスタイルの実現を可能とする国土のフロンティア
- ②廃棄物処理、水循環、エネルギー消費等の観点から、環境への負荷が少なく、人と自然がよりよい状況で共存できる地域
- ③特に、森林、農地等の国土資源管理面で重要な役割を有する中山間地域等については、国土・環境の保全等について幅広い取り組みを必要とする地域

として積極的に位置づけを行い、経済社会の変化と過疎化、高齢化等の地域社会の変貌に対応しつつ、大都市とは異なる自然的・社会的条件を生かす方向で地域の特性に応じた整備を図るとしている。

6. おわりに

全国に先駆けて高齢化、過疎化の進む四国地方において、来るべき本四三架橋時代に向けたこれからの地域づくりは特に重要である。

四国地方建設局においても、四国の独自性を生かした地域づくりを積極的に支援しており、本事業の推進により、ゆとりと潤いのある田園地域の実現を目指して行きたいと考えている。